

# iCOT Ba

## 2020

---

愛知県立大学グローバル実践教育推進室 年報

---

第8号

2021(令和3)年3月  
愛知県立大学

# i C T B a

## 2 0 2 0

---

愛知県立大学グローバル実践教育推進室 年報

---

第 8 号

2021(令和3)年3月  
愛知県立大学

# 目次

新時代の iCoToBa へ.....	1
1        グローバル実践教育と iCoToBa .....	3
2        iCoToBa での語学教育 .....	5
2.1    iCoToBa 開講講座一覧 .....	5
2.2    講座内容 .....	8
2.2.1 留学前準備講座 .....	8
2.2.2 英語コミュニケーション講座 .....	16
2.2.3 地域コミュニティ言語講座 .....	21
2.2.4 語学検定試験対策講座 .....	28
2.2.5 iContact（あいこんたくと） .....	34
3        グローバルセミナー .....	38
4        iCoToBa のイベント .....	42
5        広報活動 .....	44
5.1    iCoToBa 公式 Web サイトでの発信 .....	44
5.2    SNS での発信（Facebook・Instagram） .....	45
5.3    SNS での発信（You Tube） .....	47
6        iCoToBa 学部・学科別利用者一覧 .....	49
7        グローバル実践教育推進室会議 .....	50
7.1    助成事業 .....	51
8        グローバル実践教育推進室 .....	51



## 新時代の iCoToBa へ

上川 通夫

グローバル実践教育推進室長・教養教育センター長

iCoToBa は 2013 年度にスタートしました。外国語学部中心でしたが、2017 年度からは 5 学部の共同利用拠点として再スタートしました。そして 2021 年度からは、新しい教養教育「県大世界あいち学」とも連動した多言語学習センターとして、位置づけが高まります。変化する世界を見つめ、目的をもって実践力を身につける上で、iCoToBa の存在感は高まっています。

本学には次のようなビジョンがあります。

- 【1】 異文化交流を通じて人をつなぎ世界の諸地域を結ぶ。
- 【2】 5 学部連携による共同研究を推進し、教育に活かす。
- 【3】 「いのち」の学びと探究のテーマを掲げ「人間学」を目指す。

iCoToBa は、そのようなビジョンを多言語・多文化の理解に焦点を合わせて実践するところです。正課の授業と連動しつつも、より自主的につどう学びの機会が、たくさん用意されています。英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語のほか、本学の専攻にはないポルトガル語にも力を入れ、また韓国朝鮮語やベトナム語などを含め、学ぶ機会が設けられています。

本学が進む道、時代の要請、皆さんの希望、そういったことが iCoToBa をさらに磨いていくはずです。

iCoToBa で身近に多言語と接触し、垣根を越えた人間関係を築き、将来の自分を見ずえる機会に結びつける、そういう体験は個性的な大学生活につながります。皆さんの知的な好奇心や探究心に応える場であることは間違いありません。

2020 年度は思いもかけないコロナ禍でした。思い通りにできないことはたくさんありましたが、その悔しい思いは実行できた企画への意欲につながり、2021 年度への渴望として、良い糧になっています。新時代への飛翔を念頭に置いて、iCoToBa への関わりを深めてください。

# 1 グローバル実践教育と iCoToBa

2017 年 4 月に、グローバル実践教育推進室が設置され、「グローバル実践教育プログラム」および教育施設である iCoToBa(あいことば:多言語学習センター)の運営を行っている。

「グローバル実践教育プログラム」を推進するために、iCoToBa では多様な活動を行っている。具体的には、全学部生を対象とした外国語学習支援をはじめ、グローバル化が進む地域社会において、各学部の専門性を活かす場における外国人住民とのコミュニケーション能力の養成や多文化共生社会に必要な異文化理解、さまざまな情報を得るための実践的な英語能力の養成などが挙げられる。

以下、グローバル実践教育において、iCoToBa が果たす役割と、本年度の iCoToBa の取り組みについて述べる。

## グローバル実践教育プログラム

2017 年度に始まった全学「グローバル実践教育プログラム」(学部により 19~26 単位)では、卒業時に獲得する知識とスキルを 8 つに定め、それぞれに科目を設置している。

- A. 国際教養
- B. プレゼンテーションスキル
- C. 情報リテラシー
- D. 広義のコミュニケーション力
- E. 異文化適応能力
- F. 課題発見・解決力
- G. マネジメント能力
- H. 外国語能力



また、フィールドワークや PBL などのアクティブラーニングを取り入れ、他学部の専門科目を履修できるようにすることで、異なる専門性や背景知識を持った人と協力し課題を解決する機会が設けられており、実践的な学習そのものが異文化理解体験につながるよう工夫されている。

## iCoToBa における学習支援

本学のグローバル実践教育を推進し、多文化共生社会で活躍できる力を身につけるために、iCoToBa では、以下のような外国語学習支援と異文化理解および異文化交流のための活動を行っている。

### 1. 外国語学習支援(第 2 章参照)

目的別、レベル別に 4 種類の語学講座(留学前準備講座、英語コミュニケーション講座、地域コミュニティ言語講座、語学検定試験対策講座)と、個別指導を行う iContact(あいこんたくと)を開講している。それぞれの内容を表 1 に示す。

[表 1 iCoToBa における外国語学習支援]

講座名称	内容
留学前準備講座	留学に必要なアカデミックスキルや、留学先の日常生活に必要な知識や会話能力を養成する講座
英語コミュニケーション講座	外国語を専門としない学生も受講しやすいように、CEFR の A1 レベルから C1 まで、多様なクラスを設定した講座
地域コミュニティ言語講座	愛知県を中心とする地域でニーズの高い外国語(ポルトガル語など)を中心に、外国にルーツを持つ人々への円滑な対応を目指す。専門職業分野にも特化した講座
語学検定対策講座	TOEIC、TOEFL、その他語学検定試験対策講座
iContact	外国人教員および留学生による予約制の個別指導

## 2. 国内外のグローバル・ 이슈を学ぶ、グローバルセミナー(第3章参照)

本学の専任教員を中心に、国内外のグローバルな文脈における研究や、研究に関連した活動、または、海外生活で得た経験などを紹介するセミナーである。全学教員の協力により、さまざまなテーマを取り上げている。1 回完結型で凝縮された内容を扱っており、学生のみならず教職員の参加も多い。

## 3. 異文化理解・交流イベント(第4章参照)

外国の文化を紹介・体験するイベントや、本学留学生や近隣機関との交流イベントなどを開催している。異文化を理解し、外国語でコミュニケーションする機会にもなっている。また、これらの多くのイベントは、企画段階から学生も参加しており、学生の自主性や行動力、マネジメント能力育成も目指している。

## 4. 留学報告会

学生の留学への動機づけを目指した、留学体験談を聞くイベントである。毎週月曜日の昼休みに開催している。

## 5. 地域社会と連携した学習機会の提供

地域産業界や自治体等と連携し、地域社会における課題解決を目指した学習機会や地域でのボランティア活動の機会を学生に提供している。

## 6. 学生活動の支援

学生の自主的な活動を貴重な学習経験と捉え、iCoToBa では、学生による企画立案・実施を推奨、サポートしている。現在では、学生の自主グループ iCoToBa Supporters Club (ISC) が組織化され、iCoToBa の運営に積極的に参画している。

## 2 iCoToBa での語学教育

iCoToBa では、外国語教育の目的として、①留学準備、②全学の英語力の強化、③多文化共生社会に必要となる専門性を活かすための外国語コミュニケーション能力養成に重点を置いている。このような目的のもと、2020 年度に iCoToBa で開講した語学講座は、「留学前準備講座」、「英語コミュニケーション講座」、「地域コミュニティ言語講座」、「語学検定試験対策講座」の 4 種類である。これらの講座に加えて、個別指導を行う iContact(あいこんたくと)も実施した。

iCoToBa の語学講座は、1 学期に 13 コマ行うものと、外国語を専攻としない学生にも学びやすいよう、5 コマで 1 セットのショートコースの 2 種類がある。

また、愛知県をはじめとする東海地域は、外国人居住者が多い地域であり、私たちは社会のあらゆる場面で外国人とのコミュニケーション場面に遭遇する。そこで、2017 年度から、将来、看護師、介護士、教師、公務員などを目指す学生を対象に「地域コミュニティ言語講座」を開講している。2020 年度は、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語の講座を開講した。

以下、2020 年度に iCoToBa で開講した語学講座について報告する。

### 2.1 iCoToBa 開講講座一覧

2020 年度に iCoToBa で開講した語学講座を、表 2～5 に示す。表内の「レベル」はヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference:CEFR)によるものである。それぞれのレベルの目安は、A1:初級、A2:初中級、B1:中級、B2:中上級、C1:上級、All Levels はレベルに関係なく受講できる科目である。

[表 2 2020 年度 iCoToBa 開講 留学前準備講座]

開講時期	科目名称	各言語科目名称	レベル	受講者数
前期	英語圏をツアー！	Tour the English-Speaking World	A2-B1	7
前期	遠隔ビデオ制作プロジェクト	Remote Video Project	A2-B2	10
前期	映画について話そう：批評とディスカッション	Talking about Movies: Critical Discussion	B1-C1	10
前期	コロナウイルスを議論する：科学・社会・メディア・文化	Discussing the Coronavirus: Biology, Society and Media-Culture	B1-C1	11
後期	ブレットの映画ライブラリ：映画鑑賞とディスカッション	Brett's Movie Library: Viewing and Discussion	B1-C1	7

後期	PBL 記事作成応援講座	PBL Writing Consultations	All Levels	2
後期	iCoToBa ビデオ制作プロジェクト: 私たちがしている県大	Remote Video Project: My Imagined Kendai	A2-B2	1
後期	上級ディスカッション: グローバルな危機、 グローバルな想像力	Advanced Discussion Class: Global Crisis and Global imagination	B1-C1	5
前期	フランスでの生活を始め ましょう!	Allons en France	A2-B1	5
後期	フランスでの生活を始め ましょう!	Allons en France	A2-B1	7
前期	スペイン語・DELE の準 備をしよう!	¡Listos para el DELE!	A2-B2	15
後期	スペイン語・DELE の準 備をしよう!	¡Listos para el DELE !	A2-B2	15
前期	ドイツ語・留学前準備講 座	Vorbereitung auf das Auslandsstudium	A2	5
後期	ドイツ語・留学前準備講 座	Vorbereitung auf das Auslandsstudium	A2	4
前期	中国事情を語る	留学之前話中国	A2-B1	4
後期	中国事情を語る	留学之前話中国	A2-B1	3

[表 3 2020 年度 iCoToBa 開講 英語コミュニケーション講座]

開講 時期	科目名称	各言語科目名称	レベル	受講 者数
前期	生きた英語発音 1 新入生・初級生向けの楽し いコース	Pronunciation Profiles1 Fun Class for New Students and Beginners	A1-B1	12
前期	生きた英語発音 2 新入生・初級生向けの楽し いコース	Pronunciation Profiles2 Fun Class for New Students and Beginners	A1-B1	7
前期	初心者向けフリートーク: ボキャブラリーと簡単な ディスカッション	Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion	A1-A2	52



前期	英会話:基本へ立ち返る 英語コミュニケーション 講座	English: Back to Basics English Communication Workshop	A1-B1	28
前期	「マイペースで」トピック ディスカッション	Relaxed Topic Discussions	B1-C1	17
夏期	夏休みに使える英語を 楽しく学ぼう！	Summer online English Free talk	A1-B1	30
後期	初心者向けフリートーク: ボキャブラリーと 簡単なディスカッション 1	Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion 1	A1-A2	8
後期	「マイペースで」トピック ディスカッション 1	Relaxed Topic Discussions 1	B1-C1	6
後期	英会話:基本へ立ち返る 英語コミュニケーション 講座	English: Back to Basics English Communication Workshop	A1	19
後期	伝わる英文メールの書き方	Improve your English Emails English Academic Writing Workshop	B1	11
後期	初心者向けフリートーク: ボキャブラリーと 簡単なディスカッション 2	Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion 2	A1-A2	9
後期	「マイペースで」トピック ディスカッション 2	Relaxed Topic Discussions 2	B1-C1	6

[表 4 2020 年度 iCoToBa 開講 地域コミュニティ言語講座]

開講 時期	科目名称	受講者数
前期	生活・文化分野スペイン語入門講座	4
後期	教育分野スペイン語入門講座	11
前期	生活・文化分野ポルトガル語入門講座	29
後期	教育分野ポルトガル語入門講座	13
後期	医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座(守山)	3
前期	生活・文化分野中国語入門講座	6
後期	生活・文化分野中国語入門講座	4
前期	観光・文化分野韓国朝鮮語入門講座	16
後期	観光・文化分野韓国朝鮮語入門講座	12
後期	観光・文化分野ベトナム語入門講座	3

[表 5 2020 年度 iCoToBa 開講 語学検定試験対策講座]

開講 時期	科目名称	受講者数
前期	TOEIC Clinic	25
前期	Reading for the TOEIC ※B1-C1 対象	17
後期	TOEIC Strategies: 10-Week Course	12
後期	TOEIC Clinic (short course)	31
後期	フランス語: ネイティブによる仏検 1 次試験対策講座	2
夏期	英語検定試験対策講座	33
春期	英語検定試験対策講座	19
夏期	スペイン語: DELE の準備をしよう!	17
後期	中国語: 中国語検定試験 3 級合格を目指そう!	13
後期	ドイツ語: オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験および CEFR 対策講座	2
後期	日本語能力検定試験対策講座(留学生対象)	4

## 2.2 講座内容

### 2.2.1 留学前準備講座

#### 【英語】

Tour the English-Speaking World

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 4<sup>th</sup> period

Objective:

- To learn more about the English-speaking world.
- To increase interest in travel and global involvement.
- To gain experience giving a presentation in English.

Course contents:

Each week, the instructor gave an interactive media presentation about one place in the English-speaking world using introductory level English. Topics included natural surroundings, local food and customs, types of English used, and social issues. The topics were broken up by short quizzes and discussion sessions so students could form responses quickly in simple English. In the final lesson, students gave presentations in English about an English-speaking area.

End-of-Semester Review:

The online format of this class developed during the Covid-19 situation required some extra preparation and I was forced change some material, but the end result was that I could still

cover the material and students were eager to respond to it. I was worried about student hesitation because of the online platform and the beginner level of the class, but it did not seem to be a problem. Final presentations were successful without the usual preparation units, which indicates that students' basic computer literacy has improved since I began teaching this class.

## Remote Video Project

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Thursday lunch time

Objective:

- To conduct a flexible group project in English.
- To produce an English-language video on a topic of the students' choice.
- To work collaboratively through remote platforms.

Course contents:

This was a project-based learning class where students met online and formed teams to make videos which could share their perspectives with the world. There were initial planning phases where students brainstormed and debated ideas, modules for learning video-making skills, and teamwork where students had freedom to plan the video based on their own schedules. The final result would be posted on Kendai social media.

End-of-Semester Review:

This class was very successful. The students came from many different majors and had different English levels but were motivated to both make the video and to do project work in English. I utilized the assignments applications on Microsoft Teams as well as video lectures so the students could access the material easily. The students chose the concept: "Introducing our Japan: Visit Us When the Lockdown Ends." Four different teams made short videos based on that concept. Students used different software of their choice and divided the work according to their personal skill sets. We shared the videos online, and in a Global Seminar presentation during the following semester.

## Talking about Movies: Critical Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Thursday 4<sup>th</sup> period

Objective:

- To become able to talk about films in English at an advanced level.
- To train academic skills via the medium of film studies.
- To connect films with their social and cultural origins.

Course contents:

This class focused on making students able to participate in lectures and sections while studying abroad. Introductory topics on Film Studies formed the lecture material which students studied and responded to. The class format combined discussion sessions with academic skill-building and content knowledge. Weekly readings highlighted different words

and concepts for talking about films critically. In the classes I lectured on the reading before a student-led discussion session. In addition to lectures and movie clips, we also watched and prepared responses to two full English-language films.

#### End-of-Semester Review:

I have taught this class many times, but I had to re-organize it to adjust to the online environment. However, this turned out to be a good thing because it forced me to organize the units and language-aid material in a set way, which made it easier both to teach and to learn. I also streamlined the timing of the lessons so that students could have a better mix of reading, listening, viewing, and discussion. Student responses to the course were very positive. One thing to improve for the future is the final student presentations, which had trouble due to technical issues. In the future I will simplify the presentation assignment's media requirements and offer extra sessions to help students who want to practice.

### Discussing the Coronavirus: Biology, Society and Media-Culture

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Friday 2<sup>nd</sup> period

#### Objective:

- To gain the language and thinking skills needed to critically discuss serious issues in English.
- To explain (or find out) what your positions on world issues are.
- To experience a seminar-style course in English.

#### Course contents:

In this seminar-style discussion course, we used up-to-date newspaper articles as the base for talking about the many aspects of the coronavirus situation, including biology, government policy, lifestyle, and media representation. Each week a single student summarized and contextualized the reading before extended discussion. The final assignment was a one-paragraph speech on the theme "Lessons from the Covid Crisis." Students gave their speeches in the final Zoom session and afterwards had a critical discussion about each other's ideas.

#### End-of-Semester Review:

This class benefited from the current social situation; it attracted a diverse group of intelligent and ambitious students with good English skills who wanted to engage with the social issues of the day. The presenters took their assignments seriously and provided good bases for the discussions. I had given a preliminary module about how to manage discussions in English. Therefore, my role during lesson time was mainly one of moderating and summarizing. The quality and variety of the final speeches indicated to me that the class had been successful in encouraging the students to construct their own imaginative world-pictures through the lens of Covid-19.

### Brett's Movie Library: Viewing and Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Tuesday 4<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To use movies as tools for expanding our English speaking abilities.
- To become able to talk about movies at an advanced level.
- To get used to speaking about complicated topics without much preparation.

#### Course contents:

This class was designed as an open-structured follow-up to the Talking About Movies class of Semester 1. In each class we watched a section of an English-language movie. Afterwards, students had 5 to 10 minutes to prepare a response. These responses formed the basis for a free discussion that took up the rest of the class. The teacher filled out the discussion with subject-appropriate vocabulary, as well as useful concepts from film and media studies.

#### End-of-Semester Review:

This class, which filled an “intermediate discussion” slot, was scheduled at different time than in previous semesters. Perhaps because of that, the number of participants was lower than expected, and no members from the previous semester joined. However, the four participants were from different majors, schools, years, and English levels. This indicates that the course subject is at least potentially of wide interest. The participants all remained present and active throughout the course and gave it positive reviews. This indicates that course has the potential to be a big success, if I can schedule it at an ideal time.

### Remote Video Project: My Imagined Kendai

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Thursday lunch time

#### Objective:

- To conduct a flexible group project in English.
- To produce an English-language video on a topic of the students’ choice.
- To work collaboratively through remote platforms.

#### Course contents:

In this PBL-style class, students will work in teams to make short videos that show personal visions of Aichi Prefectural University, narrated in English. It will cover topics such as producing video content: deciding a concept, gathering video footage, using video editing software, and choosing music. Students will learn useful vocabulary and phrases for managing a project in English.

#### End-of-Semester Review:

Unfortunately, the video PBL course did not attract students this semester. This was in sharp contrast to the success of the previous semester’s course. Possible causes might be unattractiveness of the project theme, differences between first-semester and second-semester student schedules, and general burnout caused by Covid-19 and online courses. I will have to think more deeply about second-semester PBL projects for the future. In lieu of this project, I opened the course to the students who had participated in last semester’s project as an open workshop to practice video editing skills. We were therefore able to make the best of the

situation.

## Advanced Discussion Class: Global Crisis and Global Imagination

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Friday 2<sup>nd</sup> period

Objective:

- To gain the language and thinking skills needed to critically discuss serious issues in English.
- To explain (or find out) what your positions on world issues are.
- To experience a seminar-style course in English.

Course contents:

In this zemi-style discussion class, we read about and discussed contemporary and past "global crises," of which the Covid-19 crisis is the latest. We compared how they appear and disappear in the media, how people react, and how they change societies. We utilized English skills, critical thinking, and empathy to find ideas about how average citizens can engage with these "big and terrible events" in ways that contribute to a positive "global imagination."

End-of-Semester Review:

The advanced discussion course only attracted three students this semester. As with the PBL course, this thin attendance was in sharp contrast to the success of the previous semester's course. However, the three students who did participate were similarly informed and motivated to those in the previous semester. Therefore, we were able to fruitfully continue the discussion-based dynamics of these courses, and the three students never had a problem filling the time with intelligent discussion in English. The potential of these classes remains strong, but we need to find ways to attract students to them.

## 【フランス語】

Allons en France! (フランスでの生活を始めましょう!)

Instructor: Karine ZIMMER

Period: Spring & Fall Semester, Tuesday 4<sup>th</sup> period

Objective:

- To prepare students who intend to study in a French speaking country.
- To practice conversation in all kinds of situations a student might encounter abroad.
- To give students useful information about everyday life in France.

Students who are back from an exchange program are also welcome to participate if they want to practice conversation. The level of the class can be adapted.

Course Contents:

1. Introduction - Présentation du cours – évaluation du niveau des élèves (授業の紹介、学生達の会話レベル確認)
2. Faire des courses – les types de magasins – shopping en boutique, sur internet – les prix – les moyens de paiement (買い物、支払い方法)
3. S'acheter des vêtements, des chaussures (買い物、洋服、靴)

4. Se déplacer – les transports – types de billets et de tarifs (交通、切符の買い方)
5. Demander des renseignements - Dans une station de métro (地下鉄で道を聞く)
6. Voyager - Réserver un moyen de transport, un hôtel (旅行、予約)
7. Au restaurant, au café (レストランで、カフェで)
8. S'inscrire, prendre un abonnement (さまざまなものに登録すること)
9. Formalités - A la banque (色々な手続き:銀行で)
10. S'occuper de sa santé - Aller chez le médecin, à la pharmacie, chez le dentiste (健康について:内科で、薬局で、歯科で)
11. Problèmes - Signaler un vol à la police (色々な問題:警察で盗難届けを出す)
12. Communiquer avec ses amis, invitations, comment refuser quelque chose (フランス人との会話、招待すること、断り方)
13. Communiquer, exprimer son opinion (意見を伝える)

#### End-of-Semester Review:

前期はずっとオンライン授業で、学生たちがそういうオンライン授業に慣れてきたので、後期のオンライン授業はやりやすかったです。

元々の授業の内容は留学の準備でしたが、コロナ禍によって留学できなくなったので、学生たちの願いによって、教科書に基づいて行う授業よりフランス語での会話をいっぱいできる授業になりました。学生たちのレベルもそれぞれでしたので、会話のレベルを合わせながら授業を行いました。

### 【スペイン語】

#### ¡Listos para el DELE!

Instructor: Lidia SALA

Period: Spring Semester, Wednesday 3<sup>rd</sup> period

#### Objective:

- To become familiar with the content of the Spanish DELE certification exam.
- To acquire strategies to improve reading and listening skills.

#### Course Contents:

The first sessions aimed to describe the parts and tasks of the exams and some strategies to improve performance. The following sessions were exclusively dedicated to practice the different part of the test and receiving feedback from the teacher.

#### End-of-Semester Review:

As different levels gathered in the class and DELE calendar was early in the semester, first sessions were frantic. It would be advisable, then, to have a class for each level or group of levels (A1-A2; B1-B2, etc.). Nevertheless, students responded well and improved their listening, reading and speaking skills.

#### ¡Listos para el DELE!

Instructor: Lidia SALA

Period: Fall Semester, Wednesday 3<sup>rd</sup> period

#### Objective:

By the end of the course, students will have improved their oral and writing skills in order to take the A2 or B1 level DELE test.

#### Course Contents:

Class activities are focused in practicing audio and oral skills but composition tasks are also part of the course plan. During class time, learning strategies to better perform in the DELE exam are taught through group activities and individual support.

#### End-of-Semester Review:

The course was divided into two very different parts: before and after the exam. Before the exam, high demand activities and pair work was dominant throughout the class. After the exam, a relaxed pace was set and more group activities took place. This semester class attendance became an issue. Before the exam attendance was quite regular but it became minimum after the exam. Students only seem to be interested to attend this course with the DELE exam in mind, so it might be a good idea to rethink its schedule.

### 【ドイツ語】

#### Vorbereitung auf das Auslandsstudium（留学前準備講座）

担当：Martin NIERES

授業時間：前期 水曜 3 限

#### 授業目的：

コロナ禍の難しい時ではありましたが、生徒は外国での生活や就職についてモチベーションを持っていた。

外国での学習に際し、語学のみ勉強したい場合や教育的観点を必要とするなど、様々な可能性を提供する。着実に段階を経た学習の提案をする。

一人一人の希望にあわせた学習環境の提供。

#### 授業内容：

通貨の準備、銀行口座の開設、保険、国際学生証、外国での住まい、職業、友人を見つけるためのコンタクト、ソーシャルネットワーキング、コロナパンデミック、国の閉鎖、病気と健康、交通機関、文化や文化比較、伝統、祝日、危険についてなど

#### 今期の総括と課題：

学生は一人一人、行きたい場所ややりたい事が違っており、各個人の希望にできる限りそえる授業を提供していきたい。

#### Vorbereitung auf das Auslandsstudium（留学前準備講座）

担当：Martin NIERES

授業時間：後期 水曜 3 限

#### 授業目的：

前期とは受講する生徒が全く違った為、授業目的を大幅に変更する必要があった。コロナの影響で留学そのものが難しくなった為、授業の目的も変えざるを得なかった。そのため、コロナ対策についてドイツと日本の違いなどのテーマについて話す。生徒それぞれの興味



のあるテーマについて聞き、行きたい街(例:チュービンゲンなど)の情報などを紹介する授業を行う。

授業内容:

難民、海外での生活、なぜドイツ人は移民について良く理解できるのか、ブレキシット、コロナ禍での生活、フロンテックス、外国語、ドイツ語と同語族の言語、ドイツでの食事、地域の特産物や独特の食文化、ドイツの学食、食堂のアプリ、ノードゼー(魚料理の店)、ヴィーガンとハラール、国際学生証、宗教、貨幣と銀行、ドイツの歴史について

今期の総括と課題:

コロナ禍でオンライン授業ではあったが、教科書を使用して授業を行った。留学するのは難しい時期ではあったが、生徒の興味ややる気を喚起し、事が終息した場合には、留学ができるような準備を行った。外国での学生生活の良いところや外国で一年を過ごすことの重要性や貴重な体験であることなどを説明した。

## 【中国語】

### 留学之前话中国(中国事情を語る)

担当: 劉 平

授業時間: 前期 木曜 5 限

授業目的:

以发音巩固练习为主, 通过朗读材料的学习掌握新词汇和语法表达, 学习中国文化。

集中的、大量な発音練習することを通じて、学生たちの中国語発音の正確さを高める。

授業内容:

1、有针对性的の语音分解练习: 本阶段学生的难点有: ①qi、qu、xi、ji、chi、shi、zhi、zhu 等的区分, 用对比的方法反复操练、逐一纠音; ②第三声+第二声的拼合, 练习声调连读时的细微变化。

2、读句子的练习: 朗诵诗歌, 学习词汇的运用及语法表达方式;

3、读段落的练习: 朗诵成语故事, 掌握断句、停顿和连接, 领会寓意, 学习相关历史和文化知识。

中国語の発音のポイントの説明と練習。

子音・母音・鼻音・声調・轻声など中国語の基礎発音、特に日本人に対して難点発音を分解練習した。

今期の総括と課題:

本课程弥补了学生们基础课上操练不足的缺陷, 有助于巩固和消化知识, 适合低年学生。秋学期将根据学生的水平和需要调整计划, 深入学习。

今期の授業の目標に学生たちの要望によって調整を行った。後期の授業は文法の理解しながら更に中国語の短文、文章の朗読練習する予定です。

### 留学之前话中国(中国事情を語る)

担当: 劉 平

授業時間: 後期 木曜 5 限

授業目的:

训练学生汉语的听说能力，提高表达的自主性和准确性。

授業内容:

1、日常会话:

有关时事、流行、学习问题、留学、论文写作、工作、未来等。

2、视听说练习:

观看中国电视剧，丰富新词汇，了解当代中国的社会风俗、人际关系、职场现状等。

今期の総括と課題:

因材施教，依据学生水平选择教学材料，满足学生的需求。

## 2.2.2 英語コミュニケーション講座

### Pronunciation Profiles 1&2 Fun Class for New Students and Beginners

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 2<sup>nd</sup> period (Pronunciation Profiles 1)

Spring Semester, Wednesday 1<sup>st</sup> period (Pronunciation Profiles 2)

Objective:

- To improve pronunciation and intonation, especially of trouble sounds.
- To apply learned pronunciation to natural listening and speaking.
- To look at how personality and emotion can affect pronunciation.

Course Contents:

Students listened to a talk by a famous person and isolated a pronunciation point. After practicing the pronunciation point through drills and games, students returned to the featured person's talk and reproduced the day's point in a larger text.

End-of-Semester Review:

The Monday class had ten participants, while the Wednesday class had a smaller number, only four. However, it was successful in both cases. Perhaps because of the online situation, student absences were not an issue like in previous semesters. It took several weeks to adjust the teaching style of the class to the new online environment, but once that was established, I could teach the class using mostly the same methods as I have in the past. Extending Pronunciation Profiles to full 90-minute sessions was also a good adjustment this year, since online activities tend to take more time.

### Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 3<sup>rd</sup> period

Objective:

- To improve fluency of English through practice.
- To get over fears and hesitation over speaking English.
- To learn how to incorporate new vocabulary into speaking.

Course contents:

This was a simple free talk space aimed at beginner-level English learners. The class was divided into two parts. In the first half, we worked with a short vocabulary list, doing drills to practice using the vocabulary. In the second half, we did free talk using simple discussion topics. The activities were meant to help beginners get over their hesitation about speaking in a foreign language without structured activities.

**End-of-Semester Review:**

This was the first time to teach this class, and it worked out well. There were an extremely large number of participants, so I split the class into two 45-minute sessions with about 20 students per sessions. This gave a wide variety of conversation partners and allowed the activities to stay lively. I wanted the vocabulary and questions to be random, but the lack of structure turned out to be difficult for beginners. Therefore, I integrated vocabulary and questions together into topic-based sessions focusing on aspects of daily life: family, food, studying, etc. This made the activities run much smoother.

## **English: Back to Basics: English Communication Workshop**

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 4<sup>th</sup> period

**Objective:**

- To review some basic points about English grammar and speaking.
- To smooth out spoken English and reduce errors.
- To gain confidence and fluency in speaking.

**Course Contents:**

This class featured simple English skills that students had covered in public school. We reviewed points of basic grammar and practiced asking questions to keep a conversation going. This class was a safe space for students who still aren't comfortable with English, as well as a chance for more confident speakers to brush up on the basics.

**End-of-Semester Review:**

This class had a solid and manageable group of about 16 regular attendees. They mainly came from the British and American Studies major. I have noted that students in this major are particularly attracted to the short courses, so that is something to note for the near future. Many of the attendees also joined the Free Talk for Beginners class. Many of the activities of the previous class had to be adjusted for the online environment, but this class starts later in the semester I was able to predict what needed to be changed.

## **Relaxed Topic Discussion**

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Friday 4<sup>th</sup> period

**Objective:**

- To gain fluency and confidence in spoken in English through extensive practice.
- To improve variety in vocabulary and expressions while focusing on speaking.

#### Course contents:

This class was open-structured for fun and casual chat between intermediate-level English learners. Each week, students choose a topic and question based on their own interests and posted it online. In class, students took turns sharing their topics and posing discussion questions for the class. We broke into small groups to talk freely about each topic. The teacher gave vocabulary and phrases which could help students express their ideas about the topic more clearly and accurately.

#### End-of-Semester Review:

This was an ideal version of this kind of class. We had 15 regular attendees from many different departments, and even one exchange student. Because of the large number there were always enough student-chosen topics to have a varied set of discussions. During the middle of the semester, I had to remind some students about contributing topics, but other than that all students attended and participated actively. I joined in the sessions and finished each class with a mini-lesson of words and phrases for future use, though I am not sure how much use they are to students.

### Summer Online English Free Talk

Instructor: Brett HACK

Period: September 7, 9, 11, 14, 16, 18, 23 & 25

#### Objective:

- To gain fluency and confidence in spoken English through extensive practice.
- To improve variety in vocabulary and expressions while focusing on speaking.

#### Course contents:

This was a simple free talk space aimed at English learners of different levels. The class was divided into morning and afternoon sections. The morning sections were for beginner-level students; the afternoon sessions were for intermediate-level students. In both classes we worked with a short vocabulary list that was level-appropriate, doing drills to practice using the vocabulary. Then we had free talk sessions using simple discussion topics based on the vocabulary. Students were encouraged to depart from the set topics and discuss whatever interested them.

#### End-of-Semester Review:

I adapted these sessions from the Free Talk for Beginners class structure developed during the first semester. It worked well in both sections of this class. Since it was summer and students' schedules varied, the number of participants for each session varied as well. This meant that I sometimes had to change my original structure to accommodate different class dynamics. However, the online environment made this relatively easy. For the afternoon class, I tried to include questions that resembled standardized English interview test questions, as on the IELTS test.

## Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion 1&2

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Monday 3<sup>rd</sup> & Friday 3<sup>rd</sup> period

Objective:

- To improve fluency of English through practice.
- To get over fears and hesitation over speaking English.
- To learn how to incorporate new vocabulary into speaking.

Course contents:

This was a full 13-week version of the 10-week class of the same name which was initiated in the previous semester. It was a simple free talk space aimed at beginner-level English learners. The class was divided into two parts. In the first half, we worked with a short vocabulary list, doing drills to practice using the vocabulary. In the second half, we did free talk using simple discussion topics. The activities were meant to help beginners get over their hesitation about speaking in a foreign language without structured activities.

End-of-Semester Review:

Because of the huge demand for the course last semester, I tried putting the same course in two time slots this semester. Unfortunately, much fewer students joined in these classes from the previous semester. This drop seems to indicate a scheduling failure. It could be related to burnout from Covid-19 and online courses, or the double slots could have thinned the potential participants. In addition, since no students from Semester 1 joined, those first-semester students probably did not understand that this semester's course would have different material. I will have to consider these issues when making future schedules. In each course there were five students, most of whom participated well.

## Relaxed Topic Discussion 1&2

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Monday 4<sup>th</sup> and Friday 4<sup>th</sup> period

Objective:

- To gain fluency and confidence in spoken in English through extensive practice.
- To improve variety in vocabulary and expressions while focusing on speaking.

Course contents:

This class was open-structured for fun and casual chat between intermediate-level English learners. Each week, students choose a topic and question based on their own interests and posted it online. In class, students took turns sharing their topics and posing discussions questions for the class. We broke into small groups to talk freely about each topic. The teacher gave vocabulary and phrases which could help students express their ideas about the topic more clearly and accurately.

End-of-Semester Review:

As with the Free Talk for Beginners courses, I tried putting the same course in two time slots this semester because the demand was high last semester. Unfortunately, as with the Free Talk

courses, this had the opposite effect. There were only four to five students in each class. In addition, the older students in these classes often had schedule conflicts such as job hunting, resulting in both absences and students not contributing topics. The lively and collaborative nature of the previous semester was lost. In the future I will only hold one version of this course per semester. In addition, I will prepare a set of structured “backup lessons” so that if students do not contribute topics, I can still conduct a class.

## **Improve your English Emails    English Academic Writing Workshop**

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 3<sup>rd</sup> period

Objective:

- To understand the structure and style of English emails.
- To be able to write emails in formal and informal registers.
- To learn set phrases to write quickly and politely online.

Course contents:

This short course taught the basics of email communication in English for the modern world. We focused on professional situations, including situations between students and teachers; however, it also included business situations. Basic English reading and speaking skills were presumed. The class included whiteboard explanations, on-paper exercises, and many interactive writing tasks.

End-of-Semester Review:

This was one of the courses which actually benefitted from the online situation. iCoToBa writing courses generally attract only a few students, so I was prepared to accommodate the five participants, who were a small but dedicated group attending regularly and fulfilling the writing tasks well. Using the Microsoft Teams tools allowed us to share emails easily and edit them in real time. In addition, a combination of on-demand assignments and Zoom meetings meant that students could complete writing exercises according to their own schedules. Even after the Covid situation ends, it will be good to conduct this class in the same manner.

## **English: Back to Basics: English Communication Workshop**

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 3<sup>rd</sup> period

Objective:

- To review some basic points about English grammar and speaking.
- To smooth out spoken English and reduce errors.
- To gain confidence and fluency in speaking.

Course Contents:

This class featured simple English skills that students had covered in public school. We reviewed points of basic grammar and practiced asking questions to keep a conversation going. This class was a safe space for students who still aren't comfortable with English, as well as a

chance for more confident speakers to brush up on the basics.

#### End-of-Semester Review:

This class proceeded much the same as in the previous semester. Students mainly came from the British and American Studies major, but other majors were represented too. Since this semester's units were different from Semester 1 and contained more handout-based exercises, I had to revise many of the activities for the online environment. In addition, some of the group dynamics of the class made pair work difficult, so some activities were conducted as a larger class with the teacher moderating the activity. This took up time but resulted in a more comfortable atmosphere for the less confident students.

### Special Advanced Writing Consultations Collaborative Project Writing Support

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 2<sup>nd</sup> period

#### Objective:

- To polish up written documents in English for various academic purposes.

#### Course contents:

This short course supported writing activities of Kendai students, especially those active in iCoToBa. The teacher offered grammar, vocabulary, composition, and argumentation advice for students composing materials for iCoToBa PBL and advanced discussion classes. Based on the situation, the time can also be used for help with English graduation theses and statements of purpose for study abroad.

#### End-of-Semester Review:

Because the PBL course for this semester became defunct, I opened these sessions to students composing graduation theses in English even if they had not taken iCoToBa advanced classes currently or in the past. Consequently, I was able to aid in the composition of the essays of two students who met me online and through email communication. In addition to English-language checking, I offered detailed advice on composing arguments in English, as well as potential resources for making their points clearer.

## 2.2.3 地域コミュニティ言語講座

Moda...¡en español! (遠隔授業)

Instructor: Lidia SALA

Period: Wednesday 4<sup>th</sup> Period (July 1, 8, 15, 22, 29)

#### Objective:

This course is meant to give students a quick overview about clothes and clothing styles vocabulary in Spanish. At the same time, they get to know some historic facts about clothing, the latest fashion trends and about the fashion industry in Spain.

#### Course Contents:

Class activities combined videos, short texts and pair/group work to deliver the following

content:

Session 1: Describing clothes. Basic vocabulary.

Session 2: Fashion styles. Are you a fashion victim?

Session 3: Fashion and history

Session 4: Fashion and industry

Session 5: Summer trends

End-of-Semester Review:

At the end of this five hour course the students were able to understand and produce short texts and speech about fashion using the proper terms of the field, so they attained course objective SOBRADAMENTE. Despite this year's condition, class attendance was almost perfect and motivation remained high all along the course, therefore being a very satisfying course to teach.

## 教育分野スペイン語入門講座

担当：金箱亜希

授業時間：木曜日 5 限(11 月 12 日、19 日、26 日、12 月 3 日、17 日)

遠隔授業(Teams、Zoom)

授業目的：

教育現場において、スペイン語圏の児童生徒や保護者を支援する際に必要な知識、語彙や表現を学ぶ。また、他国の教育システムを学ぶとともに、通訳や翻訳をする際に注意する点を理解する。

授業内容：

第 1 回「外国人児童生徒の背景」と「持ち物の言葉」

第 2 回「教科用語と生活言語の違い」と「行事の言葉」

第 3 回「母語の大切さ」「教科の言葉」

第 4 回「外国人保護者への対応」と「学校独自の言葉」

第 5 回「各国の教育システム」と「進路の言葉」

今期の総括と課題：

今期は配慮すべき点が 2 点あった。1 点目は、オンライン授業だということ、2 点目は、生徒間のスペイン語レベル差が大きいということであった。オンライン授業に関しては、人数が多い時には Zoom のブレイクアウト機能を使用した。その他の会では、全員が積極的に参加をできるようにそれぞれの解答を共有できるように配慮した。オンラインだと、質問があっても声に出さない、出せない雰囲気があったため、例年よりもこちらからの声かけなど配慮が必要に感じた。また、2 点目のスペイン語レベルの差には、1 コマ翻訳や通訳の時間にするのではなく、教育現場で働く際には必要な基礎知識を日本語で説明する時間をとったり、各々のスペイン語レベルにあった方法で解答するといった配慮をした。スペイン語レベルが初級の生徒には、翻訳する際のコツや翻訳アプリの使用方法、中級から上級レベルの生徒には、受け手側が明確に理解できる通訳や翻訳の方法などを学んでもらった。反省点としては、スペイン語初級レベルの生徒に対して、もっと寄り添った指導ができたのではないかと思う。



## 文化・生活分野中国語入門講座(遠隔授業)

### 食文化から学ぶ中国語講座

担当: 方 曉娟

授業時間: 火曜日 4 限(6 月 30 日、7 月 7 日、14 日、21 日、28 日)

授業目的:

この授業の目的は中国の食文化を通して中国語を勉強することである。中国には、昔から「民は食を以て天と為す」という言葉がある。身近な食文化からスタートして、中国語を勉強し、中国料理と文化の奥深さを知ると同時に簡単な会話を話せるようになることを目指す。

授業内容:

テーマ:「食文化から学ぶ中国語」

第 1 回(6 月 30 日): 中国料理「料理名を中国語で言えますか」

第 2 回(7 月 7 日): 中国の点心「食べたことがありますか」

第 3 回(7 月 14 日): 中国のお茶「美味しいですか」

第 4 回(7 月 21 日): 中国の米と麺料理「上手に作れますか」

第 5 回(7 月 28 日): 中国本場の水餃子作りに挑戦する

今期の総括と課題:

総括: 初めての「遠隔授業 (Zoom)」ですが、学生達 6 名に対象に楽しく授業を行いました。特に最終回の水餃子作りは学生達の協力で思うより順調にできました。

課題: これからの「遠隔授業 (Zoom)」の場合に、対面授業と同じように以下のことを取り組みたいです。

- ・ 授業の前に学生に勉強資料を配ること
- ・ 映像教材も積極的に活用すること

## 文化・生活分野中国語入門講座(遠隔授業)

### 食文化から学ぶ中国語講座

担当: 方 曉娟

授業時間: 月曜日 4 限(11 月 9 日、16 日、23 日、30 日 12 月 7 日)

授業目的:

この授業の目的は中国の食文化を通して中国語を勉強することである。中国には、昔から「民は食を以て天と為す」という言葉がある。身近な食文化からスタートして、中国語を勉強し、中国料理と文化の奥深さを知ると同時に簡単な会話を話せるようになることを目指す。

授業内容:

テーマ:「食文化から学ぶ中国語」

第 1 回(11 月 9 日): 中国料理「料理名を中国語で言えますか」

第 2 回(11 月 16 日): 中国の点心「食べたことがありますか」

第 3 回(11 月 23 日): 中国のお茶「美味しいですか」

第 4 回 11 月 30 日): 中国の米と麺料理「上手に作れますか」

第 5 回(12 月 7 日): 中国本場の水餃子作りに挑戦する

今期の総括と課題：

二回目の「遠隔授業(Zoom)」で、授業の前に学生に勉強資料を配ったり、音像教材を積極的に活用したり、楽しく授業を行いました。特に最終回の水餃子作りは学生達の協力で思うより順調にできました。

これからの「遠隔授業(Zoom)」の場合に、対面授業同じように学生達との中国語会話を増やしていきたいです。

### 文化・生活分野ポルトガル語入門講座(遠隔授業)

担当：宮坂ヘジーナ

授業時間：水曜日 3 限(7 月 8 日、15 日、22 日、29 日、8 月 5 日)

授業目的：

ブラジルの食文化や生活に関するポルトガル語を学び、初めてポルトガル語を学ぶ方にも身体を動かしながら楽しくコミュニケーションを取ることができるようにする。

授業内容：

サンバと歌を通してポルトガル語の正しい言い方と発音を学ぶ。ストレッチをして身体や動作のいろいろな単語を習得する。ブラジルの食材店に並んでいる食べ物、野菜、お菓子などの映像で、実物を見たことがなくても、旅行の気分を味わい、ポルトガル語で質問し、ボキャブラリーを学習する。ブラジルの祭りフェスタジュニーナを紹介し、伝統的なお菓子を作る。

今期の総括と課題：

ブラジルの有名な音楽を歌って、発音やポルトガル語の特徴的な発音に触れたり、食材店に行行って買い物をする疑似体験(食材店に関する動画を流す)をした。また、実際に料理はできなかったが、料理の作り方を動画で流した。例年、フェスタジュニーナは学生が体験する祭りだが、今年は動画を使った説明となった。この祭りは何を祝うものか、どのような服装をするか、どのような食べ物を食べるか、ブラジルではどのような祝い方をするかなど。このミニ講座は初めてのオンライン授業だったため、様々な課題が残った。オンラインだから参加しやすいことと、対面でしか味わえないものをどう伝えれば良いのか？スライドショーやPC操作、授業の方法など多くの改善が必要だと思った。

### 医療分野ポルトガル語入門講座(初回のみ守山キャンパスで対面、4 回遠隔授業)

担当：宮坂ヘジーナ

授業時間：水曜日 2 限(10 月 21 日、28 日、11 月 4 日、11 日、18 日)

授業目的：

授業初級レベル向けに医療現場で役に立つポルトガル語を学ぶ。コロナウィルスによって引き起こされたこの混乱の時だからこそ、他の国からの目線で、アイディアやヒント、自分ができることや必要な表現をポルトガル語で学ぶ。

授業内容：

コロナウィルスによる新しい挨拶の仕方、ブラジルのCovid19(ブラジルの医療制度)、日常のケア、問診表、パソコンの操作、症状、身体部位やその動作、体型、印象を紹介する。

第1回 Covid19の前と後のブラジル式挨拶

第2回 ブラジルのCovid19から学ぶ

第3回 ブラジルを知る、ブラジル人を知る

第4回 みんなで一緒にポルトガル語で健康体操

第5回 ブラジル人患者のオンライン診療に役立つ基礎知識

今期の総括と課題：

医療分野だけを目的とした学生もいたが、ポルトガル語の能力を高めたいという目的で参加した学生もいた。遠隔授業だからこそ参加しやすいという学生もいた。参加者は多くなかったが、ブラジルのコロナに対する感染状況の画像を話題に、いろいろな話しや質問がでた。「こういう時にポルトガル語でどう表現するか」習慣や、日常生活(手を洗う、マスクをする、その他)社会的な話題が多かった。

### 教育分野ポルトガル語入門講座(遠隔授業)

担当：宮坂ヘジーナ

授業時間：水曜日 3 限(11 月 25 日、12 月 2 日、9 日、16 日、23 日)

授業目的：

教職を目指すみなさんは、将来、クラス担任としてブラジル人の園児、児童生徒の教育に携わる可能性が大きい。この講座では、ブラジル文化やポルトガル語に触れ、学んだことをブラジルの子どもたち、保護者とのコミュニケーションのきっかけづくりや教室活動に役立ててもらおうことを目指した。

授業内容：

ブラジルの有名な漫画や遊び歌を皆で歌ったり、絵を見たり、読んだりしました。自分の子どもの頃の人気の絵本をそれぞれの学生が話しました。絵本や漫画を通して子どもとの初めての会話をポルトガル語でどう言えば良いのか？ポルトガル語で書かれた絵本を読んだりしました。ブラジルの民族学校、環境の授業、オンデマンドの授業の映像を説明しながらポルトガル語を聞いて、ブラジルのそれぞれの学校の習慣や特徴を話題にしました。

今期の総括と課題：

今期の受講者は、ポルトガル語やスペイン語の初心者レベルではない学生が多かったため、ブラジルの教育制度や漫画を紹介し、ブラジルの学校の場面の動画を見せながら、会話や聞き取りを進めることになった。ブラジルのある民族の授業や、小学校の「持続可能性」に関する授業や、様々なオンライン授業の方法を基にポルトガル語の聞き取りや説明をポルトガル語で学ぶことができた。動画の会話はポルトガル語で、字幕があるものもあったが、翻訳資料はなく、画像の説明は口頭になった。

### 観光・文化分野 ～관광 · 문화 분야～

韓国朝鮮語 CoTo はじめ *KOREAN for K-POP TRAVELERS*

担当：姜 信和

授業時間：木曜日 3 限(7 月 2 日、9 日、16 日、23 日、30 日)

授業目的：

現在の新型コロナ感染予防対策である各国の出入国制限が緩和された後に K-POP のコンサートに行く韓国旅行を想定して、韓国朝鮮語の実践的な会話練習を行う。韓服をレン

タルして宮殿や韓国的な街並みの美しい北村を訪れたり、伝統茶を飲んだり、友人たちとベストショットを撮るときに使うようなリアルな表現を学ぶ。仁寺洞のカフェやレストランでの注文、買い物やアポイントをとる際に必須の数字の運用など、すぐに使える表現を学習するのはもとより、韓国の文化にも親しめるようにする。

#### 授業内容:

今回はオンラインでの開催であったため、Zoom のブレイクアウト機能を大いに活用して、ロールプレイによる会話練習を、可能な限りたくさん行った。視聴覚教材としては、アイドルたちが出演しており、YouTube で簡便に観られる教材を利用した。どこにも行けず不安的な状況が続く中、授業が終わった後も、受講生たちが楽しみながら繰り返し観られることを意識した。各回のテーマは以下のとおりである。

#### 全体テーマ KOREAN for K-POP TRAVELERS

##### 各回のテーマ

- 第1回(7月2日) 韓国到着、宿のチェックインと周辺探索
- 第2回(7月9日) 明洞での食事、東大門でショッピング後に広蔵市場へ
- 第3回(7月16日) 景福宮守門将の交代儀式を観覧、仁寺洞で伝統茶を
- 第4回(7月23日) 韓服を着て北村韓屋村でベストショット(インセンシャツ!)
- 第5回(7月30日) 前売り券のネット購入、コンサートの開演を待ちながら

#### 今期の総括と課題:

いつにもまして好評価であったところを見ると、履修生たちはよほどどこか生活状況にあるのかもしれない。束の間の息抜きにでもなり、韓国語を楽しめたのなら大変うれしい。かねてから受講生のレベル差については懸案事項であるが、それでも互いに協力しあう姿を見てありがたく、こちらがむしろ学ばされて癒される思いがした。感謝の気持ちを大切に、今後も双方向性に富んだ楽しい授業運営を心がけていきたい。

#### 観光・文化分野 ~관광·문화 분야~

#### 韓国朝鮮語 CoTo はじめ KOREAN for K-POP TRAVELERS

担当: 姜 信和

授業時間: 5 限(12月18日、21日、22日、23日、24日)

#### 授業目的:

新型コロナ感染拡大により未だ不安定な状況が続いているが、コロナ禍のこのような時世だからこそ、国境を跨ぎ越す往来再開に向けて、旅先でも役立つフレーズを蓄えるというコンセプトで実践的な会話練習をする。本講座では待ちに待った K-POP コンサートに行く旅行を想定して、買い物や注文、アポイントをとる際に必須の数字の運用など、すぐに使える会話表現の習熟を図る。伝統文化に触れられる名所をまわった前期に引き続き、後期はホンデ(弘大)エリアなど、現代的な韓国の街並みを訪ねる設定で学習する。

#### 授業内容:

今回もオンラインでの開催であったため、Zoom のブレイクアウト機能を大いに活用して、ロールプレイによる会話練習を、可能な限りたくさん行った。視聴覚教材としては、アイドルたちが出演しており、YouTube で簡便に観られる教材を利用した。不安的な状況が続く中、授業が終わった後も、受講生たちが楽しみながら繰り返し観られることを意識した。各回の

テーマは以下のとおりである。

**全体テーマ** KOREAN for K-POP TRAVELERS

**各回のテーマ**

第1回(12月18日) Nソウルタワーからの夜景

第2回(12月21日) シティーツアー開始

第3回(12月22日) 世界の縮図、イテウォン(梨泰院)

第4回(12月23日) 流行の発信地、ホンデ(弘大)

第5回(12月24日) ソウルでの最終日

今期の総括と課題:

今回は履修生たちが忙しくなる時期の開催となったためか、意欲があるのに全回の出席を諦めざるを得なかった事例が多かったようである。今後の反省点として改善を試みたい。一方で人数が少ない分、発言の機会が多くて通常の授業よりも質問しやすい雰囲気であったとの意見もあった。資料が充実していた、熱心であったとの評価もあった。ありがたく受け止め、今後も一方通行ではない対話型の楽しい授業運営を心がけていきたい。

## 観光・文化分野ベトナム語入門講座

担当: グェン タン タム

授業時間: 火曜日 4 限(11月10日、17日、24日、12月1日、8日)

授業目的:

ベトナム語の表記と発音の基本を知り、読むことができる。

ベトナム人と挨拶し、友達関係を築くことができる程度の簡単なやりとりができる。

日本の周辺国の一つであるベトナムの国・人・文化に親しみ、友好的な姿勢を育む。

授業内容:

本講座の内容はベトナム語に興味を持つ学生の関心に応じて、作成したものであります。オンライン授業では映像化のパワーポイント教材(データ量の削減と、またオンラインでの可読性から PDF 形式に変換)を使用し、ベトナムについての知識及びベトナム語の基本・日常会話といった 2 つの内容を伝えていきます。また、Teams の機能を活用し授業のメモやベトナム語発音の自作録音・録画などの視聴覚資料を学生と共有しています。

各回のテーマは下記の通りであります。

第1回 ベトナムの基本知識・あいさつ

第2回 ベトナムのユニークな所・自己紹介

第3回 ベトナムの料理・注文

第4回 ベトナムの旅行・買い物

第5回 ベトナムの若者のライフスタイル・友達づくり

今期の総括と課題:

本講座はベトナム語に興味を持つ学生の関心を、レッスンの内容と関連づけて作成しました。毎回学生との相互コミュニケーションを重視しながら、オンライン授業を実施しました。ベトナムの基礎知識としてベトナムの自然・名物・歴史・文化などの特徴を写真や動画で紹介しました。また、ベトナム語の表記と発音について紹介し、1～数語から成る文を表記のルールに沿ってある程度正しく読み上げられるように練習させました。発音を何回も繰り返

してもらいましたが、この段階では学生はベトナム語のやや複雑な音節・声調に苦戦したと思います。そこで、学生が自宅でも発音の練習・改善できるように Teams を通じて、自作の録音・録画を共有し、サポート教材を工夫しました。応用性が高いと思われる会話を導入し、楽しくベトナム語の文法と語彙を覚えてもらいました。相手の性別・年齢・人間関係に応じる挨拶、料理の注文仕方、物の値段の聞き方やベトナム人と友達関係を築くための簡単なやりとりを、ペアで練習させました。学習者にベトナム特有の文化や若者のライフスタイルについて知ってもらい、また日本との関連を考えることによって、さらにベトナムに興味を持ってもらいました。

## 2.2.4 語学検定試験対策講座

### TOEIC Clinic

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 5<sup>th</sup> period

Objective:

- To become familiar with the kinds of questions on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

Course contents:

This short course served as an introductory course for TOEIC practice. The teacher explained basic strategy for the various parts of the TOEIC. After taking portions of the test, the students asked questions to the teacher about grammar, vocabulary etc.

End-of-Semester Review:

The Monday 5<sup>th</sup> Period slot remained a well-attended slot for the TOEIC preparation classes, even in the online situation. I had to change to a combination of on-demand and in-class exercises quickly at the beginning of the course. Hearing from some students after the course, I was pleased to learn that their TOEIC scores had improved. This short session is perhaps most valuable because it generates interest in the TOEIC as part of university study.

### Reading for the TOEIC

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 5<sup>th</sup> period

Objective:

- To improve reading speed and comprehension of TOEIC Reading Questions.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

Course contents:

In this short course, we focused on improving reading speed and comprehension for Section 7 of the TOEIC. We used TOEIC practice questions and did reading and vocabulary-building drills. We also used the questions to learn about the kinds of cultural and business situations

that appear in the TOEIC.

#### End-of-Semester Review:

Perhaps due to the online environment, this class was more difficult to conduct than before. I had to change to a combination of on-demand and in-class exercises quickly at the beginning of the course. As in previous years, the course attracted mid- to high-level students who were interested in understanding the social and business background of TOEIC questions.

### TOEIC Strategies: 10-Week Course

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Monday 5<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To become familiar with the kind of language on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

#### Course contents:

This class was for students who already have some experience with the TOEIC. Using sections from an ETS-Oxford test preparation book, we went into detail about strategies for taking the TOEIC test. We spent most of the time trying out various time-saving techniques, as well as practicing best-guess strategies. We also studied important grammar points and developed semantic flexibility.

#### End-of-Semester Review:

This was the second time to try out a longer TOEIC class. Materials and course structure had to be heavily edited to accommodate remote learning, which is not ideal for timed TOEIC practice. Attendance and participation were fairly good considering the Covid situation. However, attendance was not as stable as in the face-to-face versions of this course. As per my findings from the previous year, I adjusted the textbook activities more liberally to suit my teaching style. This was very important for dealing with the online situation.

### TOEIC Clinic, Pre-test Sessions

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 4<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To become familiar with the kinds of questions on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

#### Course contents:

This short course served as an introductory course for TOEIC practice. The teacher explained basic strategy for the various parts of the TOEIC. After taking portions of the test, the students asked questions to the teacher about grammar, vocabulary etc. This course was connected to an iCoToBa-based program for funding eligible students' TOEIC test fees.

#### End-of-Semester Review:

For this version of the TOEIC Clinic 2<sup>nd</sup> Semester short course, we opted to conduct the classes in a single time slot rather than in separate periods as before. The online version of this course made such a decision more feasible. Because this course was connected to funding eligible students' TOEIC test fees, participants were present all the time; absences were not an issue. However, there was greater hesitation to ask questions in this particular class. I have an initial module for TOEIC-related questions, which I will resurrect next semester to deal with this issue.

#### 夏季英語検定試験対策講座

リスニングセクション対策講座・リーディングセクション対策講座・

スピーキング&ライティングセクション対策講座

授業時間:9月7日(月)～11日(金)、14日(月)・15日(火) 1・2限、16日(水) 1限

リスニング7講座、リーディング6講座、スピーキング&ライティング2講座

#### 春季英語検定試験対策講座

リスニングセクション・スタート講座・リーディングセクション・スタート講座・

スピーキング&ライティングセクション・スタート講座

授業時間:2月9日(火)～12日(金)、16日(火)～18日(木) 1・2限、19日(金) 1限

リスニング7講座、リーディング6講座、スピーキング&ライティング2講座

担当: 宮崎尚一

授業目的:

検定英語受験対策のための総合英語力強化

授業内容:

コロナ禍の影響もあり、本講座ではリアルタイム双方型オンライン授業スタイルを取り入れた。必要に応じて画面共有機能を用いながら、TOEFL iBT、TOEIC、IELTS といった英語検定試験がどのようなものであるか解説し、特に TOEIC 試験に役立つ効果的な対策を行った。頻出問題を論理的な流れを踏まえて徹底的に分析し、設問の出題傾向を把握させ、各設問に対するアプローチの仕方を習得させるようにした。設問の選択肢から正解を選ぶうえでの「判断の根拠」を明確にすることを心掛けさせた。

今期の総括と課題:

ユニークな個性の受講生が集まり、総合英語力を強化するために各自が非常に努力してくれた。リーディング・スキルとリスニング・スキルの向上が、ライティング・スキルとスピーキング・スキルの向上にもつながるので、本講座では時間的制約もあって苦渋の選択ではあったが前者の2つのスキルに重点をおいた。参加した受講生が、リーディング・スキルとリスニング・スキルにおいて以前よりも自信をもって、この先も総合英語力向上に積極的に取り組んでもらうことを心から期待する。

#### DELE B2 の準備をしよう！

授業時間:9月9日 1・2限、10日 1・2限、11日 1限



担当:Lidia SALA

授業目的:

To become familiar with the content of the Spanish DELE certification exam and to practice several of its tasks.

授業内容:

As it was an intensive course aimed at the preparation of the exam, classes were exclusively dedicated to provide enough practice of the oral exam plus feedback and to reinforce efficient strategies to improve the written parts of the exam.

今期の総括と課題:

Despite this year circumstances, the course was very satisfying. Student attendance was excellent and, as the exam was close, attitude and motivation was very high. Actually, online classes made easier to manage the class different levels, as they could work separately in teams and zoom.

### オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験および CEFR 対策講座

授業時間:木曜日 5 限(11 月 19 日、26 日、12 月 3 日、10 日、17 日)

担当: Martin NIERIS

授業目的:

検定試験を受けるにあたり、必要な知識や日本のテストとは違う特有の設問を把握し、問題を何度も解き試験に臨めるようにする。また、当日の心構えや重要なポイントなどを紹介し、試験対策をする。

授業内容:

試験の内容を把握するために、実際の過去問題を解く。設問の内容が理解できない場合が多いため、繰り返し練習をすることで、必要としている解答が導き出せるようにする。

今期の総括と課題:

授業 2 回の後に試験という準備期間の短い中で、試験を行ったが、難しい点などを説明し、試験に臨んだ。試験後の 3 回はオンライン授業で、経験した試験についていろいろと話し合うことができた。一番難しい聞き取り問題について、集中的に練習を行った。

### 日本語能力試験対策講座(Zoom での遠隔授業)

授業時間:水曜日 3 限(10 月 28 日、11 月 4 日、11 日、18 日、25 日)

担当: 西山可菜子

授業目的:

日本語能力試験(以下 JLPT)の受験レベルに合わせ、出題範囲内で未習の語彙・文法の習得を目指す。

授業内容:

目標レベルを基準に、N1 クラス(1 名)と、N4 クラス(3名)の二クラスを同時刻内に開講した。Zoom のブレイクアウトルーム機能で、部屋を二つにわけ、講師が 30 分ずつローテーションで各クラスを移動、文型の導入と例文作成を行い、練習問題に取り組んだ。

### 【N4 合格を目指すクラス】

受講生からの希望で「使役」、「受身」、「たら・ても」の導入を各回で行い、N4 の過去問題で、それぞれの文法項目を扱った問題を中心に組み、フィードバックを返す流れで実施した。

### 【N1 合格を目指すクラス】

受講生はすでに N1 の受験経験があり、知っている文法を一つでも多く増やしたいとの希望があった。本人の意向を汲んで本人がまだ使用したことのない『日本語総まとめ N1 文法』を中心に、オリジナルプリントで未習の文型を導入、作成した例文へのフィードバックを行い、練習問題に取り組んだ。

### 今期の総括と課題：

講座の実施にあたり、学生たちに呼びかけたものの、コロナの影響で JLPT の実施が確定でなかったこと、また来日と重なり、諸手続きで講座への参加が難しいなどの条件が重なり、試験へのモチベーションがなかなか保てない様子であった。しかし参加した N4 レベルの学生は、JLPT を受験する予定は今のところないが、文法を勉強したいとのことで、国外からも熱心に取り組んでいた。N1 レベルの学生については、12 月に受験を終え、いい手ごたえであったとの報告を受けている。本人曰く、自分のつくった例文に対し文法的なフィードバックを得る機会がこれまで少なかったため、小人数制で受講できたことは貴重な機会となったとのことであった。今回オンラインでの実施は、個人が集中できる空間を自由に増やせたため、様々なレベルへの細かい対応が可能であった。今後も JLPT をはじめ様々な試験の実施が厳しい状況が続くと思われるが、制限のあるなかで、いかにモチベーションをあげ工夫を重ねていけるか、今一度考えていきたい。

## 受講者の声

外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 2 年 岩月亜希子

2021 年 3 月に、ドイツへ留学するという前提から受講しました。受講者の興味あるテーマを取り入れてもらい、そのテーマに沿った内容や EU の現状・移民問題などドイツで暮らす上で考えなければいけないことを学びました。この講義は、基本ドイツ語を話します。質問をしたり、意見を伝えたりしてドイツ語の会話の実践を強化してもらえる数少ない講義だと感じます。分からないときも日本語で補足してもらえたため安心して臨めました。留学は延期になりましたが、準備期間が増えたと捉えて更に興味ある事、ドイツの事、時事問題などにも関心を深めていきたいと思います。

(留学前準備講座ドイツ語受講)

外国語学部国際関係学科 4 年 小川春菜

私は、2020 年度の前期と後期に、iCoToBa の Video Project に参加しました。基本的に全て英語で行いますが、Brett 先生と相談できるため初心者でも安心して受講できます。前期は 2 人でペアを組み、5 分ほどの日本紹介ビデオを作りました。アイデアを出し合い、下見や編集の計画を立てて作業を進めつつ、各々の進捗を共有して授業が進んでいきます。後期は、個人での動画作成でした。私は外国人 4 人に Zoom インタビューを行い、6 分の動画に編集しました。このように、昨年留学時にできた友人とオンラインで関わりを持てたこ

とを嬉しく感じると共に、ちょっとした留学の成果が動画という形で残って良かったと感じています。動画編集はそこまで難しくありません。皆さんも、楽しく英語で動画編集スキルを身に付けてみませんか？(iCoToBa ビデオ制作プロジェクト受講)

外国語学部英米学科 1 年 高野麻汐

私はオンラインでも英会話の練習がしたいと思いこの講座を受講しました。フリートークと言っても、毎週トピックや質問が与えられていたので沈黙になってしまう心配はなく、気軽に参加できました。分からない表現はブレット先生に教えてもらいつつ、自分が知っている単語を使って英語を話す練習を何度も重ねるうちに、少しだけスムーズに会話ができるようになりました。大学に入るまで英会話をする機会があまりなく、その場ですぐ文を組み立てて発することが苦手だったので、この講座はすごく有意義なものとなりました。人前で英語を話すことへの抵抗感が減り、改めて今後も話す練習を続けていきたいと思いました。

(フリートーク:ボキャブラリーと簡単なディスカッション受講)

外国語学部中国学科 2 年 伊藤晴香

中華料理に興味があり、食文化を通して言語を学ぶことができる点が魅力的だったので、この講座を受講しました。最も印象的だったことは、餃子の違いです。日本では、「中華料理＝餃子」であり、焼いて食べることが多いです。中国では、餃子を食べない地域もあり、水餃子が最もポピュラーだそうです。中国について「知っているつもり」であった私には、とても衝撃でした。この講座の最大の特徴は、最終回で餃子を皮から作ることだと思います。オンラインでの実施となりましたが、各々が自宅から様子を見せあいながら、和気あいあいと作業を進め、最終的にはとてもおいしい餃子を作ることができました。この講座をきっかけに、さらに様々な経験を通して知識を深めていきたいです。

(地域コミュニティ言語講座「食文化から学ぶ中国語講座」受講)

外国語学部英米学科 1 年 寺尾玲香

「水曜 3 限:基本へ立ち返る」には前期・後期ともに参加しました。自分では覚えていると思っていたことでも改めて学ぶことで勘違いしていたことや、知らなかった使い方などを正しく覚え直すことができました。また 2 人に分かれて会話する機会が設けられていたので初めて話す方や、学年が決まっていなかったので 2 年生の方とお話しできたので良かったです。初めての方とネットを通して少しですが英語で話すことへの抵抗が少なくなったように感じました。この授業がきっかけで授業以外にも自分で文法の基本を学び直す良いきっかけになりました。これからも積極的にこのような授業に参加したいと思います。

(英会話:基本へ立ち返る受講)

## 2.2.5 iContact(あいこんたくと)

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症のため、iCoToBa のハック教員と、教養教育センター外国人教員 4 名が担当する英語の iContact はすべてオンラインで実施した。学生は決められた iContact スケジュールから希望の時間をメールで予約し、設定されたテレビ会議システムを使って、教員とマンツーマンで会話練習を行った。留学生の SA(スチューデント・アシスタント)が担当する iContact は前期はオンラインで、後期はオンラインと対面式のハイブリッドで実施した。前期は 3 名の学生が、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語を担当し、後期は 6 名の学生が、スペイン語、中国語、ポルトガル語、トルコ語を担当した。オンラインでの iContact の実施については学生や教員の通信環境、予約や会議設定がスムーズに行えるか等の不安もあったが、概ね順調に行われた。2020 年度の iContact 実施実績を表 6、表 7 に示す。

[表 6 2020 年度前期 iContact 実施実績]

言語	担当	実施回数	参加者数(のべ数)	合計時間
英語	iCoToBa 専任教員 教養英語専任教員	164	416	41
スペイン語	留学生	7	24	3.5
ポルトガル語	留学生	8	57	4
ロシア語	留学生	5	7	2.5
合計		184 回	504 人	51 時間

[表 7 2020 年度後期 iContact 実施実績]

言語	担当	実施回数	参加者数(のべ数)	合計時間
英語	iCoToBa 専任教員 教養英語専任教員	167	209	41.75
スペイン語	留学生	11	18	19.5
中国語	留学生	13	18	6.5
ポルトガル語	留学生	21	33	21
トルコ語	留学生	31	38	22.5
合計		243 回	316 人	111.25 時間

## Teacher's Voice

Josh BRUNOTTE (Liberal Education Center)

There were many challenges to education at Aichi Prefectural University this year due to the COVID-19 pandemic. These changes forced all teachers and staff to adapt to online teaching and to learn technology-based approaches for learning, and that included the iContact system. I was very happy to participate in iContact this year online using Teams, and I thought its implementation was quite successful. Thanks to the staff, meetings were organized well and I was

able to enjoy practicing English with students during each online session. I believe the students were quite happy as well, since many have been isolated at home and seem to truly appreciate the chance to practice their English. I want to thank the PAGE Office and iCotoba staff for making this year successful despite the challenges.

Christopher WYLE (Liberal Education Center)

These year Icotoba went fairly smoothly. Due to Covid, I conducted all sessions online as organized by the staff at Aichi Prefectural University and this worked very well. Even though I prefer face-to-face communication, the fact that my online sessions were with only one student meant we could communicate well (something that can be difficult in larger groups) and the students seemed happy with our meetings. In previous years, I often met the same students each week, which was similar online. One negative was that sessions, especially Tuesdays, often were not reserved while Thursdays were often fully booked, which I assumed had more to do with schedules, but am not sure of the cause. Regardless, the online format seemed to work well overall and I enjoyed chatting with students or helping them with H.W. each week.

Ana Maria FLORES (Liberal Education Center)

Online iCotoba for FY 2020 gave me more chances of meeting the same students several times. During the conversations, I felt that the students were more comfortable expressing themselves. Several times the schedule would go a little over the allocated time of 15 minutes. And, this was only because both myself and the student(s) were talking about topics that needed more time. Somehow, I feel that communication through online in iCotoba for FY2020 has allowed the students to be less conscious when speaking in English. Perhaps, a combination of in-person and online meeting will be a good innovation in iCotoba.

Craig JONES (Liberal Education Center)

It was unfortunate that we were unable to attend face to face iContact sessions this year. However, I believe the online iContact sessions were successful. Using Microsoft Teams to arrange appointments was very smooth and easy; I did not have any problems at all and neither did my students. I think it was a great outlet for students to chat to someone during a very difficult time for them. The number of participants was slightly down, but that is to be expected, because when sessions are face to face in the iCoToBa, people often sign up if they happen to be there and see an open appointment. Overall, I had a positive online iContact experience, and I really think it helped students that were struggling with being home alone, particularly first year students unable to experience the university life they had expected.



[iContact の様子(2019 年度)]

## Student's Voice

チャム モラレス ディエゴ(バハカリフォルニア自治大学 交換留学生)

iContact siempre fue muy divertido. Hablamos mucho en español, pero algunas otras veces hablábamos en japonés para que pudiéramos practicar. Hablábamos sobre la escuela y cosas de la vida. Siempre me gustó estar ahí y discutir sobre diferentes temas. Si es posible, me gustaría poder participar otra vez para poder ayudar a más personas con su español, o incluso con su inglés, ya que disfruto mucho ayudar a los demás con cualquier cosa que necesiten, especialmente si se trata sobre lenguajes.

私たちはいつもスペイン語で話しました。日本語も練習しました。いつも楽しかったです。時々、宿題と生活のことを話しました。例えば、大学の文章や論文です。旅行についても話しました。スペイン語で話すときに、いつも難しい言葉を使うようにしていました。そして、日本人の学生にその言葉の意味を説明しました。文脈も説明しました。私は説明することが好きなので、うれしいです。できればまた iContact に参加したいです。

エステヴァン リヴェロ(サンパウロ大学 交換留学生)

Eu não achei que gostaria tanto assim de ensinar português. Foi a primeira vez que tive a oportunidade de ensinar sobre minha língua materna para japoneses. Eu sei que português não é uma língua fácil, mas não consegui prever todos os pontos que achariam difícil. Por exemplo, fiquei muito surpreso com a dificuldade para falarem corretamente o “já” [ʒa], pois não conseguiam separar o “d” do “dja” (じゃ [dʒa]).

ポルトガル語を教えるのはそんなに好きだと思わなかったです。母語を日本人に教えるのは初めてでした。笑いすぎた経験でした。なぜなら、できるだけブラジル人の本当の話し方を、いけない言葉を含めて、徹底的に教えたからです。ブラジルにすごく人気のビデオも見せながら、ポルトガル語を説明しました。僕の発音学の知識を使って、自然な発音も説明しました。みんなの役に立ったと思います。僕にとって、忘れられない経験です。

オズトゥルク アハメット フルカン(情報科学研究科メディア情報専攻 1 年)

Geriye donup baktigimda gercekten cok guzel bi sene oldugunu goruyorum.Turkce ve turkiye

kulturu hakkında ve aynı zamanda Japonya ve kulturu hakkında eglenceli ve bilgi dolu iContactlar düzenledik. Kulturlerarasi etkilesim atmosferini tatma imkanini bana veren tüm iCotoba ailesine ve iContact derslerine katılan Japon ve yabancı tüm arkadaşlarıma teşekkür ediyorum. Birlikte geçirdiğimiz bu yarım sene gibi nice mutlu ve eglenceleri senelere. Hepinizi çok seviyorum , teşekkürler.

振り返ればあつという間ですが素晴らしい半年間でした。トルコ語やトルコの文化、観光地、日常生活、食文化と日本の文化などいろいろなことについて話したり、教え合ったりなどをしたすごく楽しい iContact でした。多文化の雰囲気を実際に経験できたこの機会をアイコトバ担当者様と参加して下さった日本人や外国人の友達に感謝しています。この半年間ありがとうございました。

グレン メリクシャー(情報科学科 3 年生)

Iconact'ta Türkiye hakkında konuştuk ve Türkçe dersleri verdim. Türkiye'ye ilgi duyan öğrencilere Türk mutfağı, kültürü, turizmi ve dinini tanıttım. Türkiye veya orta doğu ülkeleri hakkında araştırma yapan ve ilgi duyan öğrencilerle bunlar hakkında konuştum. Ayrıca devamlı öğrencilerimle Türkçe dil bilgisi de çalıştık ve günlük sohbetlerde birçok kelimeyi anlayıp konuşabilir seviyeye geldi. Korona'nın etkisiyle genellikle uzaktan Iconact yaptık, fakat interneti kullanarak çeşitli şeyler hakkında konuşup uluslararası eglenceli bir faaliyet gerçekleştirdiğimizi düşünüyorum. Ayrıca

Icotoba'nın düzenlediği etkinlikleri de katılıp, burada da Türkiye hakkında konuşma fırsatı buldum.

iContact ではトルコについてのお話やトルコ語の授業が行いました。トルコに興味を持っている学生の方々にトルコの料理、文化、観光、宗教について紹介しました。また、定期的に通っている学生さんとトルコ語の文法なども勉強し、日常の会話でたくさん言葉を分かる、話せるレベルに達成できました。コロナの影響で対面での iContact は少なかったことは残念だと思っていますが、遠隔でも色々なお話ができ、国際交流を深めて楽しかったと思います。

竹内 茜(英米学科 1 年)

英語やフランス語と比べると、日本人にとってトルコ語はマイナーな言語ではありますが、留学生と仲良くなる機会が欲しかったので参加しました。トルコ語に関する知識がほとんど無い状態で参加したため楽しめるか不安でしたが、トルコ人のお二人がとても優しく 30 分では足りないと思うくらい楽しめました。実際に留学生の方が先生となってトルコ語のアルファベットの発音から文法までわかりやすく丁寧に教えてくださり、最終的には自分で簡単な文を作ることができるところまでに成長することができました。とてもいい機会なのでいつか実際にトルコに行って現地の人とトルコ語で話すために、これからもトルコ語の勉強を続けていきたいと思っています！

加藤 優奈(ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 1 年)

私は大学入学後 iContact があることを知ってから、ほぼ毎週週二回、一回 15 分の iContact を利用していました。私が iContact を利用する目的は、日常に英語を使う時間を作り、



今持っている英語力を維持することです。言語能力はその言語を継続的に使用しないとすぐに落ちてしまうので、大学のプログラムで定期的に iContact を利用させてもらえてとても助かりました。私は、1 週間のうちにあった出来事や趣味の話、などを話題として英会話していたので、日常会話程度ですが、iContact を利用し始めた時に比べると、スラスラと会話ができるようになり、英語力維持だけにとどまらず、英語力を向上させられたと実感しています。



[留学生 iContact の様子(2020 年度)]

### 3 グローバルセミナー

iCoToBa グローバルセミナーは、2017 年度から始めた取り組みである。本学の教員や外部有識者を招き、国内外のグローバルな文脈における研究や、研究に関連した活動、または、海外生活で得た経験などについて紹介し、議論できる場をつくることを目指したものである。本学のグローバル事業が全学化されたことにともない、学生と教職員が交流できる場として設定された。

2020 年度はコロナ禍の影響もあり、開催数は例年の 3 分の 1 程度で、オンラインでの開催となった。オンライン開催にどのくらいの参加者が集まるかという不安もあったが、今まで会場まで足を運ばなかった人が気軽にコンピュータにログインして参加できるというプラス面があった。どちらかといえば参加者が固定してしまう傾向もあったが、オンライン開催により初めて参加した学生や教職員も多かった。今後も学部や大学間を超えた学びの場としての役割を果たしていきたい。2020 年度に開催したグローバルセミナー一覧を表 8 に示す。

(以下、講師の敬称略)



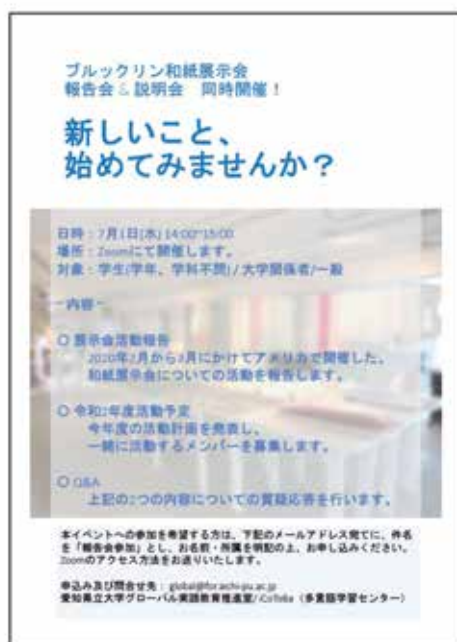
[表 8 2020 年度開催グローバルセミナー一覧]

月 日	講師	タイトル	参加者数
7/1	学生自主企画メンバー 推薦 森田 久司(英米学科)	ブルックリン和紙展示会報告会 新しいこと、始めてみませんか？	59
11/11	ブレット ハック (多言語学習センター)	Video Projects at iCoToBa: Participating in the World by Making Media	18
11/25	クリストファー ヘイスティングス (英米学科)	How Video Games Help Us Connect ゲームでつながる！	16
1/13	樋口 浩造 (歴史文化学科)	僕が見た中国ー中華料理を中心にー	20
1/20	モルガン ダレン (ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)	独学で外国語を学ぶための正しい アプローチ法 How to learn a language on your own	56

## ブルックリン和紙展示報告会 ー新しいこと、始めてみませんか？ー

講師: 学生自主企画メンバー・森田 久司(外国語学部英米学科)

2019 年度の学生自主企画に採択され、2020 年 2 月 28 日～3 月 8 日にニューヨーク・ブルックリンで開催された「和紙展示会」の報告会と活動を今後につなげていくための説明会を Zoom を使ったオンラインで実施した。



[7 月 1 日グローバルセミナー]



[展示会パンフレット]

## Video Projects at iCoToBa: Participating in the World by Making Media

講師: ブレット ハック (iCoToBa 多言語学習センター)

グローバル化が進み、我々の情報にあふれた世界では、さまざまな言語や文化が共通の視聴覚媒体を通じて相互に作用している。つまり、メディア表現やプラットフォームが世界を理解し影響し合う文化手段になっている。愛知県立大学の iCoToBa 多言語学習センターでは、メディアリテラシー(情報媒体活用能力)と社会問題を語学学習に組み込んだ英語メディアプロジェクトを実施した。この発表では我々のプロジェクトの概念を紹介し、学生たちが制作したビデオを観ていただく。つまりこの取組は、メディア教育の理論と実際のビデオ視聴とディスカッションの素晴らしい組み合わせといえるだろう。



[学生が制作したビデオ]

[11月11日グローバルセミナー]

## How Video Games Help Us Connect

—ビデオゲームはどのように私たちを結びつけるのに役立つのか—

講師: クリストファー ヘイスティングス (外国語学部英米学科)

Video games are often portrayed in the media as being responsible for antisocial behaviour and cognitive decline in young people. However, due to the global pandemic, attitudes towards video games are changing and their value as social spaces is slowly becoming understood. In this talk, the speaker will explain how online video games can help us socialise and develop cognitively, give examples of different types of these games, and most importantly, there will be an opportunity to play some of these games! This talk is aimed at people who want to start playing online games with their friends, teachers who want to use online games for pedagogic purposes, and those generally interested in games.





は考えたことがあるのではないのでしょうか。独学でも正しいアプローチさえすればとても大きな成果をあげることができます。大切なのは、時間をつくること、それには努力が必要です。そして続けることです。まずは自分にあった勉強方法を見つけましょう。やり方は人それぞれなので、自分にあったやり方を見つけましょう。ここで大事なのは、楽しんでやることです。自分の好きなこと、興味があることで、語学を学ぶのが一番です。さまざまな言語を 30 年以上楽しく学習している私の経験やコツを皆さんと共有します。



[1月20日グローバルセミナー]

## 4 iCoToBa のイベント

iCoToBa では、異文化理解および異文化交流の促進を目的に、さまざまなイベントを開催している。しかし、2020 年度はコロナウイルス感染症のため、前期は一度もイベントは開催できなかった。キャンパスに一度も来ることのできなかった 1 年生や来日できなかった留学生も多かった。夏以降にオンラインや距離をとりながら実施した 4 回のイベントを以下表 9 に記す。

[表 9 2020 年度 iCoToBa 開催イベント一覧]

実施日	時間	イベント名	参加者数
8 月 11 日	10:30~12:00	留学生成果発表会「やさしい日本語」	16
11 月 9 日	14:30~16:00	Halloween Party 1	15
11 月 11 日	13:30~15:30	Halloween Party 2	22
1 月 18 日	12:05~12:50	Happy New Year Event	16



[Happy New Year Event via Zoom: January 18, 2021 ]

## 5 広報活動

### 5.1 iCoToBa 公式 Web サイトでの発信

iCoToBa は、2013 年の開室にあわせ公式 Web サイトを開設し、iCoToBa の利用促進を目指して、さまざまな情報発信をしている。iCoToBa の公式 Web サイト「Pickup Information」と「新着情報」を定期的に更新し、イベントや講座情報などを広く発信した。更新日とタイトルを表 10 に示す。2020 年 4 月 1 日から 2021 年 2 月 1 日の発信件数は 37 件である(2021 年 2 月 1 日現在)。

[表10 2020年度iCoToBa公式Webサイトでの情報提供]

更新日	タイトル
2020.4.16	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉室します
2020.4.17	2020 年度前期 iCoToBa 講座受講申込みについて
2020.4.17	iCoToBa (多言語学習センター) 紹介動画の公開について
2020.4.21	iCoToBa 講座申込時の注意事項
2020.4.28	iContact の予約を開始します！
2020.5.8	iContact (5/12～5/22) について
2020.6.3	留学生 iContact (オンライン) について
2020.6.9	6 月 15 日スタート！留学生 iContact (オンライン) について
2020.6.17	「地域コミュニティ言語講座」受講者募集
2020.6.18	学生企画「ブルックリン和紙展示会報告会」の開催について
2020.6.19	韓国語サークル (オンライン) 参加者募集
2020.6.26	iCoToBa (多言語学習センター) の開室について
2020.6.29	留学生 iContact の申込み (7/6～7/30 実施)
2020.7.1	地域コミュニティ言語講座「文化・生活分野ポルトガル語入門講座」
2020.7.16	7/18 (土)、7/25 (土) は閉室します
2020.7.22	今後の iContact の予定
2020.7.22	iCoToBa 夏季休暇閉室のお知らせ
2020.8.7	2020 夏 iCoToBa summer Program 受講申込みについて
2020.9.28	2020 年度後期 iCoToBa 講座受講申込みについて
2020.10.1	後期 iContact の予約が始まります！
2020.10.5	iCoToBa オンライン Q&A を開催します！
2020.10.09	2020 年度後期 iCoToBa 講座「中国語検定試験 3 級合格を目指そう！」「医療分野ポルトガル語入門講座 (守山 C)」の受講者を募集します
2020.10.13	後期留学生 iContact が始まります！
2020.10.21	「医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座」を遠隔授業で受講できます。
2020.10.26	10/28 (水)「グローバル実践教育プログラム」成果発表会の開催について

更新日	タイトル
2020.10.27	iCoToBa 地域コミュニティ言語講座（スペイン語、中国語、ベトナム語）を開講します！
2020.10.30	iCoToBa 講座「検定試験対策講座（独）」、「教育分野ポルトガル語入門講座」の受講生を募集します！
2020.10.30	11 月 2 日（月）は閉室します
2020.11.05	2020 年度第 2 回グローバルセミナーの開催について
2020.11.18	2020 年度第 3 回グローバルセミナーの開催について
2020.11.18	地域コミュニティ言語講座『【観光・文化分野】～관광・문화 분야～韓国朝鮮語 CoTo はじめ』受講者募集について
2020.12.1	12 月の留学生 iContact 参加者募集
2020.12.23	12/23（水）第 2 回グローバル実践教育プログラム成果発表会について
2020.12.28	2020 年度第 4 回グローバルセミナーの開催について
2021.1.7	英語検定試験対策講座受講者募集
2021.1.14	2020 年度第 5 回グローバルセミナーの開催について
2021.1.14	iCoToBa Happy New Year Event !

## 5.2 SNS での発信(Facebook・Instagram)

2017 年 4 月に iCoToBa の Facebook「愛知県立大学 icotoba(あいことば)」を開設した。週に 1 回以上の更新を目標に、学生が読みやすいカジュアルな文章や写真を多くアップしている。また 2019 年度 6 月からは、Facebook と連動させて Instagram も開始し、認知度を高めるポスターの掲示や、ページへのアクションキャンペーンを行った。2021 年 2 月 1 日現在で Facebook のフォロワー数は 320 人、2020 年 4 月 1 日から 2021 年 2 月 1 日の発信件数は 33 件である。また、Instagram のフォロワー数は 230 人、2020 年 4 月 1 日から 2021 年 2 月 1 日の発信件数は 34 件である。Facebook の記事の公開日および内容を表 11 に示す(2021 年 2 月 1 日現在)。

[表11 2020年度 Facebookによる発信状況]

公開日	投稿内容
2020.4.17	2020 年度前期 iCoToBa 講座広報
2020.4.17	iCoToBa オンラインコース説明
2020.4.20	iCoToBa 講座プロジェクト広報
2020.4.28	iCoToBa 英語語学講座広報
2020.4.30	iCoToBa Supporters Club 紹介・メンバー募集
2020.5.11	iCoToBa 遠隔授業広報
2020.6.18	地域コミュニティ言語講座広報
2020.6.18	オンライン学生イベント「ブルックリン和紙展示会報告会」広報
2020.7.1	地域コミュニティ言語講座「文化・生活分野ポルトガル語入門講座」広報

公開日	投稿内容
2020.7.14	「総合日本語Ⅱ」成果物紹介
2020.7.21	留学生による「やさしい日本語」Zoom 講座広報
2020.8.21	iCoToBa Summer Program 「英語検定試験対策講座」「スペイン語検定試験対策講座」「Online English Free Talk」 広報
2020.9.11	名古屋国際センター「グローバルユースフォーラム」案内
2020.9.28	iCoToBa English Course Guide
2020.9.29	Remote Video Project course 広報
2020.10.1	Brett's Movie Library: Viewing and Discussion 広報
2020.10.5	「iCoToBa オンライン Q&A」 広報
2020.10.13	iCoToBa classes have started this week!
2020.10.14	Autumn campus photo
2020.10.19	留学生iContact 広報
2020.10.19	留学生iContact 広報
2020.10.22	Electric fence caution 広報
2020.10.31	Halloween Event 広報
2020.11.1	第2回グローバルセミナー広報
2020.11.3	第2回グローバルセミナー広報
2020.11.4	第2回「グローバルユース Café 手仕事がつなぐカンボジアと日本」案内
2020.11.5	地域コミュニティ言語講座広報
2020.11.11	ISC 説明会ウィーク 広報
2020.11.13	Halloween Event 報告
2020.11.18	「総合日本語Ⅲ」成果紹介
2021.1.11	Happy New Year Event 広報
2021.1.20	第5回グローバルセミナー報告
2021.1.26	Mount Ontake photo

[表12 2020年度 Instagramによる発信状況]

公開日	投稿内容
2020.4.10	Social Distancing
2020.4.20	2019年ビデオプロジェクト『難民と人権: 私たちにできること』紹介
2020.4.28	iCoToBa 英語講座広報
2020.4.30	iCoToBa Supporters Club(ISC)新入生メンバー募集
2020.5.11	iCoToBa 遠隔授業広報
2020.6.23	地域コミュニティ言語講座広報
2020.6.23	オンライン学生イベント「ブルックリン和紙展示会報告会」 広報
2020.7.1	地域コミュニティ言語講座「文化・生活分野ポルトガル語入門講座」 広報



2020.8.21	iCoToBa Summer Program 「英語検定試験対策講座」「スペイン語検定試験対策講座」「Online English Free Talk」 広報
2020.9.28	The ninth floor of the E-building photo
2020.9.28	iCoToBa English Course Guide
2020.9.29	Remote Video Project course 広報
2020.10.1	Brett's Movie Library: Viewing and Discussion 広報
2020.10.1	iCoToBa 開室案内
2020.10.1	iCoToBa コロナ対策
2020.10.5	「iCoToBa オンライン Q&A」 広報
2020.10.13	iCoToBa classes have started this week!
2020.10.14	Autumn campus photo
2020.10.19	留学生 iContact 広報
2020.10.19	留学生 iContact 広報
2020.10.20	留学生 iContact 広報
2020.10.22	Electric fence caution
2020.10.31	Halloween Event 広報
2020.11.1	第 2 回グローバルセミナー広報
2020.11.3	第 2 回グローバルセミナー広報
2020.11.10	Halloween Event 広報
2020.11.11	Halloween Event 報告
2020.11.13	Halloween Event 報告
2020.11.19	地域コミュニティ言語講座『【観光・文化分野】～관광・문화 분야～韓国朝鮮語 CoTo はじめ』 広報
2021.1.11	Happy New Year Event 広報
2021.1.20	第 5 回グローバルセミナー広報
2021.1.20	第 5 回グローバルセミナー報告
2021.1.21	iCoToBa Spring Program 広報
2021.1.26	Mount Ontake photo

### 5.3 SNS での発信 (YouTube)

iCoToBa Multilingual Learning Center

チャンネル登録数・・・45 (2021 年 1 月 31 日現在)

[表13 2020年度 YouTubeによる発信状況]

公開日	タイトル	視聴回数	評価回数
2020.4.16	Introducing iCoToBa 2020	372	5
2020.4.16	iCoToBa English Courses 2020 S1 遠隔授業になった！	275	3

公開日	タイトル	視聴回数	評価回数
2020.9.28	icotoba English courses 2020 S2 Guidance Video - iCoToBa 2020 年後期英語講座ガイド	10	1
2020.11.8	APU Video Project Refugees,How we Can Help NEW VERSION	50	2



[iCoToBa SNS ページ]

## 6 iCoToBa 学部・学科別利用者一覧

(2020 年 10 月～12 月)

2020 年 4 月から 9 月まで、コロナウイルス感染症のため、iCoToBa は閉室した。2020 年 10 月から一部対面授業が始まったことにあわせ、短縮時間(午前 9 時から午後 4 時 30 分)で開室した。10 月から 12 月の iCoToBa 利用者一覧を表 14、表 15 に示す。

[表 14 iCoToBa 利用状況(外国語学部生)]

入学年度	外国語学部						
	英米	フランス	スペイン	ドイツ	中国	国際関係	計
2020	39	14	7	1	0	4	65
2019	1	6	11	23	27	26	94
2018	3	0	15	0	2	9	29
2017	1	0	38	0	3	26	68
2016 以前	0	0	111	0	10	0	121
計	44	20	182	24	42	65	377

(人数はのべ数)

[表 15 iCoToBa 利用状況(外国語学部以外の学生)]

入学年度	日本文化学部		教育福祉学部		看護学部	情報科学部	大学院	※交換留学生	計
	国語 国文	歴史 文化	教育 発達	社会 福祉					
2020	0	0	0	0	0	5	10	46	61
2019	2	7	1	0	0	0	0	0	10
2018	0	0	0	0	0	11	0	0	11
2017	0	6	0	6	0	0	0	0	12
2016 以前	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	13	1	6	0	16	10	46	94

※海外学術交流協定大学からの特別聴講学生を指す (人数はのべ数)

## 7 グローバル実践教育推進室会議

2020 年度のグローバル実践教育推進室会議開催一覧を以下、表 16 に示す。

[表 16 2020 年度グローバル実践教育推進室会議開催一覧]

回	開催日	主たる審議・報告事項
第 1 回	5 月 27 日	グローバル実践教育推進室名簿について 2020 年度グローバル実践教育推進室事業内容(案) グローバル実践教育プログラム修了認定スケジュール グローバル実践教育プログラム「海外協定大学修得科目 (外国語学部)」について 2020 年度前期講座(地域コミュニティ言語講座)開講について 東海東京財団の助成金執行結果 2020 年度前期 iCoToBa 講座開講状況 2020 年度前期 iContact 実施状況
第 2 回 (メール会議)	6 月 22 日～ 24 日	令和 2 年度(2020 年度)前期 iCoToBa 講座開講予定について 令和 2 年度(2020 年度)TOEFL 講座開講案について 一部対面授業開始に伴う iCoToBa の対応について
第 3 回 (メール会議)	7 月 20 日～ 24 日	グローバル実践教育プログラム「海外協定大学修得科目 (外国語学部)」の読み替えについて
第 4 回	8 月 19 日	令和 2 年度東海東京財団助成金の使途について 2020 年度後期 iCoToBa 講座開講予定について 新カリキュラムにおけるグローバル実践教育プログラム 令和 2 年度卒業予定者のグローバル実践教育プログラム 修了証申込み状況 2020 年度 iCoToBa サマーコース 2020 年度前期 iCoToBa 地域コミュニティ言語講座受講状況について 2020 年度前期留学生 iContact 実施状況について
第 5 回 (メール会議)	9 月 30 日～ 10 月 6 日	令和 2 年度後期 iCoToBa 講座開講について
第 6 回	10 月 23 日	2020 年度前期 iCoToBa 科目成績認定 2020 年度後期 iCoToBa 開講講座について 新カリキュラムにおけるグローバル実践教育プログラム 2020 年度第 1 回グローバル実践教育プログラム成果発表会 2020 年度後期 iCoToBa 講座受講状況

		2020 年度後期留学生 iContact 2020 年度前期 iCoToBa 授業アンケート
第 7 回	3 月 12 日	令和 2 年度(2020 年度)後期成績認定について 令和 2 年度(2020 年度)グローバル実践教育プログラム修了証の発行について 令和 3 年度(2021 年度)iCoToBa 開講科目の時間割についてについて 地域コミュニティ言語講座開講案について 令和 2 年度(2020 年度)後期 iCoToBa 科目授業アンケート結果について

## 7.1 助成事業

令和 2 年度東海東京財団による助成事業「愛知県立大学「グローバル実践教育事業」のうち「大学のグローバル化の推進」事業、(iCoToBa<あいことば:多言語学習センター>関連事業)について、下記のとおり、東海東京財団理事会にて報告した。

日時:令和 2 年 12 月 16 日(水)

場所:名古屋市中村区名駅 3 丁目-28-12 大名古屋ビルヂング 33 階

出席者:上川室長、高阪副室長、木下学務部長、水野

## 8 グローバル実践教育推進室

2020 年度のグローバル実践教育推進室室員および事務担当者は以下のとおりである。

室長	上川 通夫(教養教育センター長、歴史文化学科)
副室長	高阪 香津美(国際関係学科)
室員	
外国語学部	菊池 好行(英米学科)
日本文化学部	樋口 浩造(歴史文化学科)
教育福祉学部	山本 かほり(社会福祉学科)
看護学部	片平 正人(看護学科)
情報科学部	奥田 隆史(情報科学科)
グローバル実践教育推進室	ブレット ハック(グローバル実践教育推進室・iCoToBa)
学務部部長	木下 圭一郎
学務課課長	阿喰 悟
担当事務職員	水野 淑子(グローバル実践教育推進室・iCoToBa)
	秋本 美里(グローバル実践教育推進室・iCoToBa)

# iCoToBa 年報 第 8 号

グローバル実践教育推進室年報

2021（令和 3）年 3 月発行

発行：愛知県立大学 iCoToBa（多言語学習センター）  
〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3 E 棟 2 階  
Tel: 0561-76-8833 Fax: 0561-64-1107  
e-mail: [icotoba@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:icotoba@for.aichi-pu.ac.jp)  
<http://www.for.aichi-pu.ac.jp/icotoba/>

印刷 株式会社 あるむ

iCoToBa  
Annual Report  
Aichi Prefectural University

iCoToBaは東海東京財団の助成金を得て、運営しています